

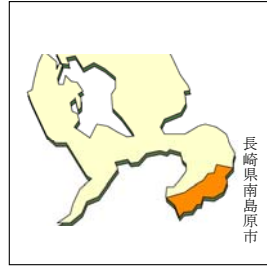
南島原市地域公共交通活性化・再生協議会

平成20年5月29日設立
平成21年3月19日連携計画策定

概要

本市は、山間部を中心に交通空白地区が数多く存在する。こうした交通空白地区では、高齢化などにより運転が出来なくなった際の移動手段として、新交通システムの利用意向が高い。さらに、高齢化率は上昇を続けており、今後、新交通システムの利用意向はさらに高まっていくことが予想される。

こうした状況を踏まえ、本市では、『すべての人が安心して便利に利用できる持続可能な公共交通体系の実現』を目指して、乗合タクシーによる新交通システムの実証実験を実施する。



◎乗合タクシーの実証運行

コミュニティバスを運行している深江町を除く7町で、交通空白地区からまちなかエリアまでの区間を、定時定ルート方式あるいはエリアデマンド方式により乗合タクシーの実証運行を実施する。

各町の運行方針

町名	運行方式	運行ルート(エリア)	運行本数	料金
①加津佐町	定時定ルート	3ルート	往復4便/日 (エリアデマンドは最大本数)	1回につき 300円 (小人は半額)
②口之津町	エリアデマンド	2エリア		
③南有馬町	エリアデマンド	2エリア		
④北有馬町	エリアデマンド	4エリア		
⑤西有家町	エリアデマンド	3エリア		
⑥有家町	定時定ルート	3ルート		
⑦布津町	エリアデマンド	2エリア		

※各町1日につき1ルート(エリア)の運行とし、各ルート(エリア)を月曜日から土曜日まで、日替わりで運行する。

実証運行データ等に基づく次年度以降の運行方針の検討

実証運行期間中の利用者及び事業者への聴き取り調査や利用実態調査、全世帯へのアンケート調査を実施し、データ分析を行うとともに市民のニーズを的確に捉え、次年度以降の本格運行に繋げる。

